allcinema

女だけの都（1935）

LA KERMESSE HEROIQUE
CARNIVAL IN FLANDERS

メディア 映画
ジャンル ドラマ　コメディ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 114分
初公開日 1937/03
公開情報 劇場公開

【解説】
ユニークな着想の物語だが、その面白さに寄りかかって、映画的には大分やせた作品という印象を抱かざるをえない。１７世紀初頭、フランドル地方のボーム市は、スペインの虚名の統治下ゆえの繁栄を享受していたが、年に一度の祭りを明日に控え、浮き足立っている所に、凶暴で名を馳せるスペイン軍来訪の報を聞く。不甲斐ない役人どもは市政の表舞台から姿をくらまし難を逃れようと、突然の市長の死をでっち上げた。男はみな服喪し、公の場には出てこないとなれば、もてなしは女の役目となり、予想外に穏やかなスペイン兵たちはよろしく歓待され、何の波乱も起こさず、一年の免税措置の恩典まで市に与え去っていく。賢明な市長夫人は“すべて夫の功績”と、彼をバルコニーの挨拶に立たせほくそ笑むのだった。フェミニンなムードは装いだけで、機知は鈍く、諷刺もまだるっこしい。ただ、Ｌ・メールソンの厚みのある美術の完成度は、それ自体で一つの美を構築している。

【クレジット】

監督	ジャック・フェデー	Jacques Feyder
脚本	ジャック・フェデー	Jacques Feyder
	シャルル・スパーク	Charles Spaak
撮影	アリ・ストラトリング	
	ハリー・ストラドリング	Harry Stradling Sr.
音楽	ルイ・ベイツ	Louis Baydts
出演	フランソワーズ・ロゼー	Francoise Rosay
	ジャン・ミュラー	Jean Murat
	アンドレ・アレルム	Andre Alerme

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.